

マッピング技法
～当事者と社会資源
をつなぐために～

高山 亨太

精神保健福祉士・社会福祉士

Email: takayama@deafjournal.net

ソーシャルワークの定義

- ソーシャルワーク専門職は、人間の福利(ウェルビーイング)の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワメントと解放を促していく。
- ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響し合う接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である。

ソーシャルワークの展開過程

- インテーク(受理面接)
- アセスメント(事前評価)
- プランニング(計画策定)
- インターベンション(介入)
- モニタリング(中間及び事後評価)
- ターミネーション(終結)

1 経済的不安定

2 政治的活動
経験の希薄性

3 情緒的
接触の欠如

7 意欲の
欠如

パワレスな状態とは？

4 批判的・
抽象的思考訓練
の欠如

6 学習され
た絶望感・無
用感

5 身体的・情緒的
ストレス

エンパワメントの実践目標

**B.Solomon,Black Employment:Social Work in Oppressed Communities,
Columbia University Press,P.6、 1976**

- 1 クライアントが自分の問題解決を目指していくとき、自分自身が主導者であることを自認できるように援助する。
- 2 クライアントが活用できる知識や技術をワーカーが保持していることを、クライアントが自認できるように援助する。
- 3 ソーシャルワーカーはクライアントにとっての協力者、パートナーであることを、クライアントが認めるように援助する。
- 4 ソーシャルワーカーが威圧的な社会制度の負の影響を減少させる働きをしていることを、クライアントが認めるように援助する。

6W2Hの記録

- W h e n (いつ)
- W h e r e (どこで)
- W h o (だれが)
- W h a t (なにを)
- W h y (なぜ、どのような目的で)
- H o w (どのように、どうやって)
- W h o m (誰との関係で)
- H o w L o n g A g o (どのくらい前から)

記録の役割

- 備忘録としての役割
- 状況や問題の明確化の役割
- 確認と修正のための役割
- 評価や効果測定のための役割
- 共有される資料・証拠としての役割
- 調査・研究の資料としての役割

マッピング技法の活用

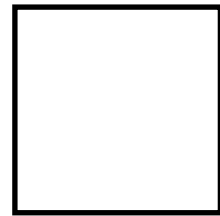
- ジェノグラム（家系図）
- エコマップ（生態地図）

ジェノグラム (家系図)

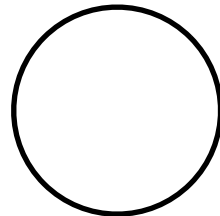
- 原則として3世代程をさかのぼる家族員(血縁ではなくとも同居したり、家族との関係が深い人を含む)の家系図を「ジェノグラム」と言う

性別

- 男性

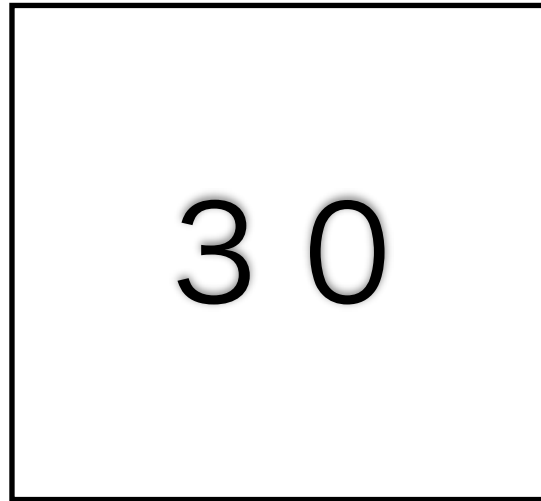


- 女性



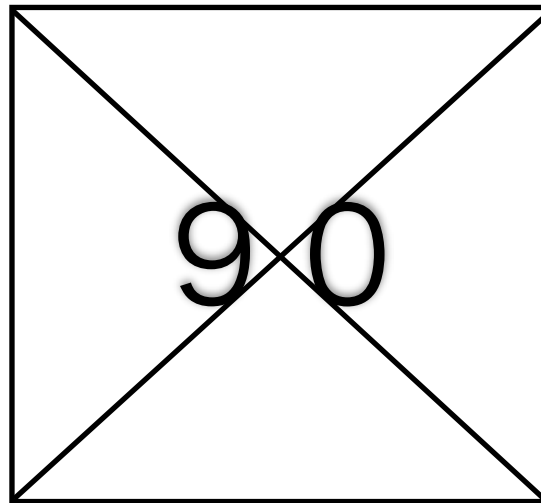
クライアントは2重線

昭和56年生まれ
現在30歳の男性



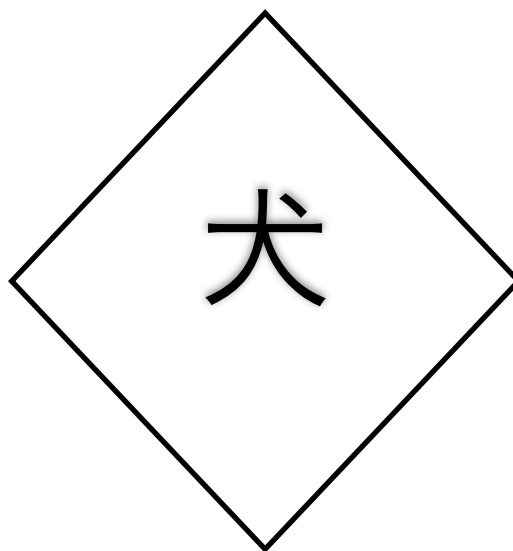
S56~

平成23年に80歳で 肝臓ガンにより死亡

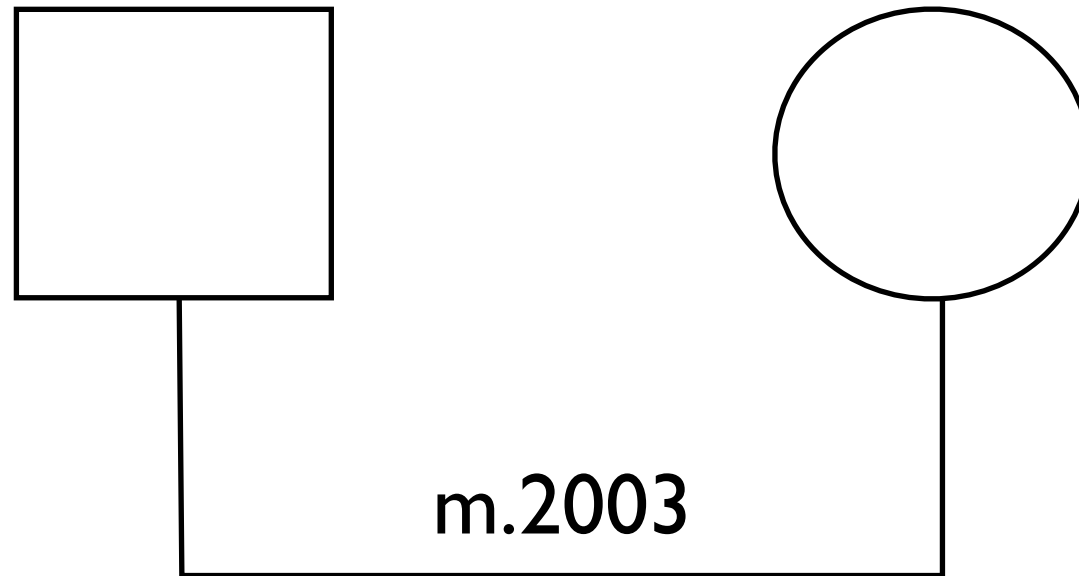


～H23 肝臓ガン

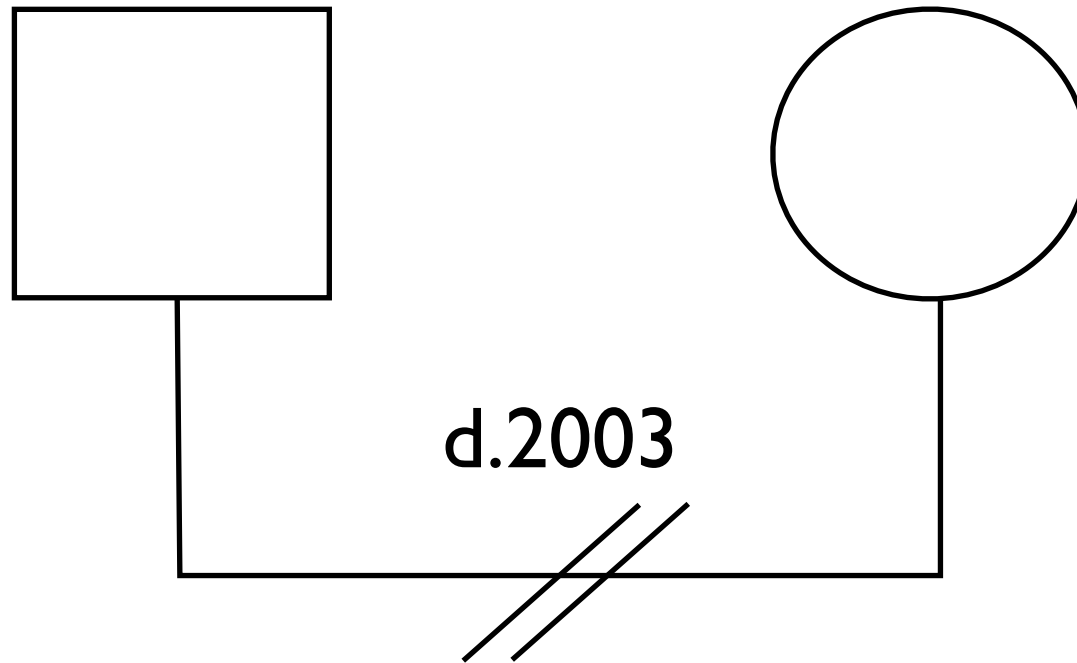
ペット



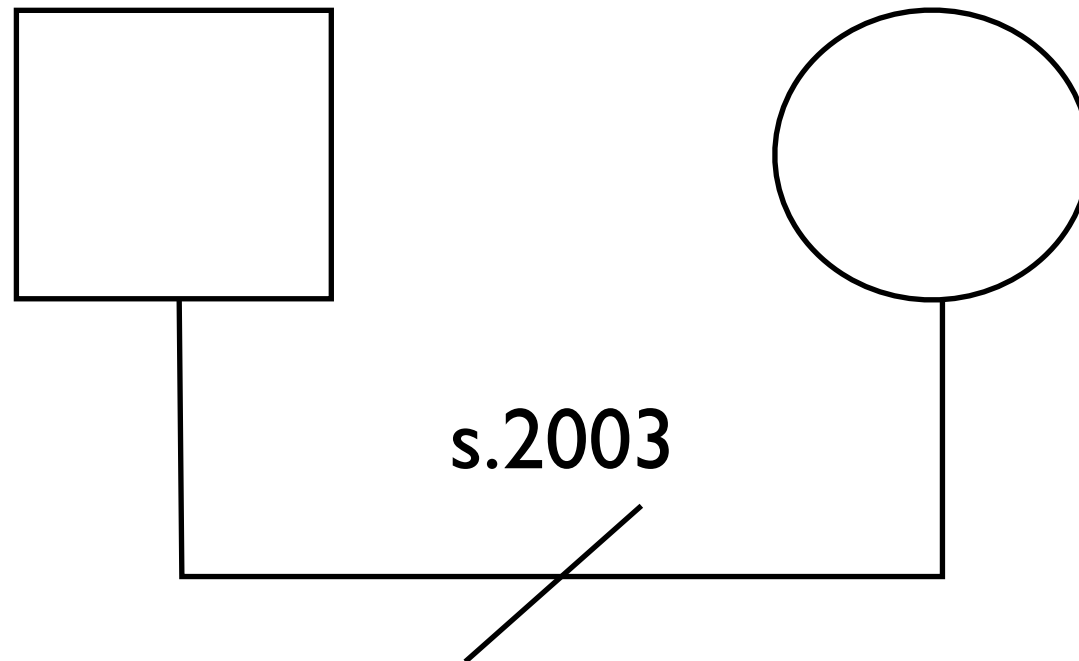
結婚



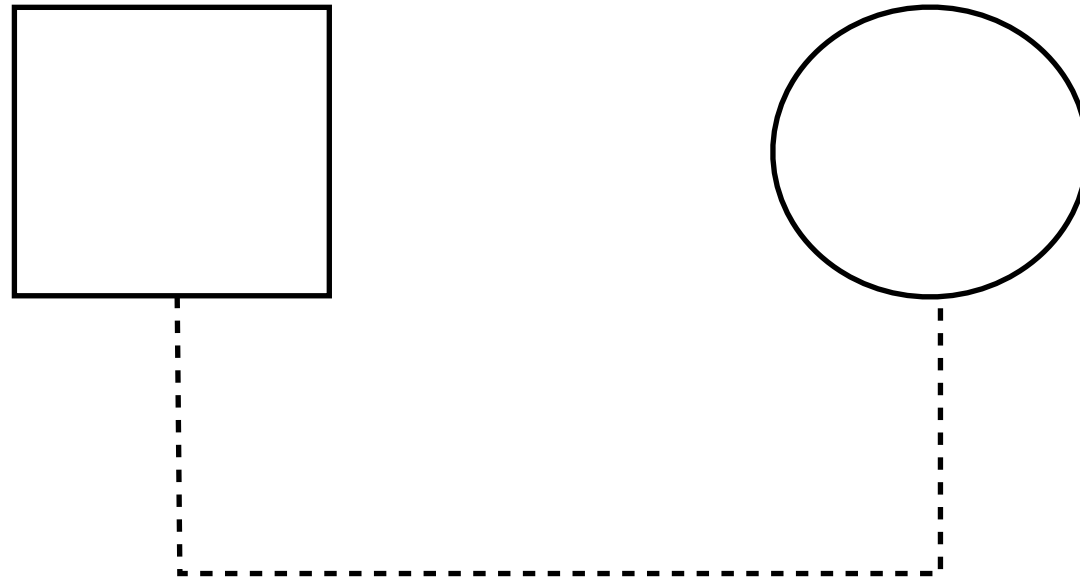
離婚



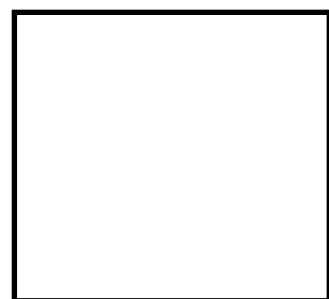
別居



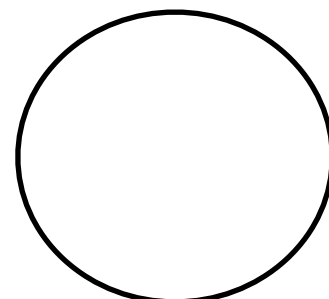
同棲または恋愛関係



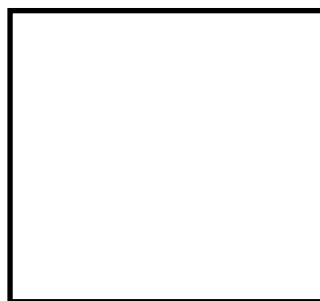
ろう者・難聴・中途失聴



ろう



難聴

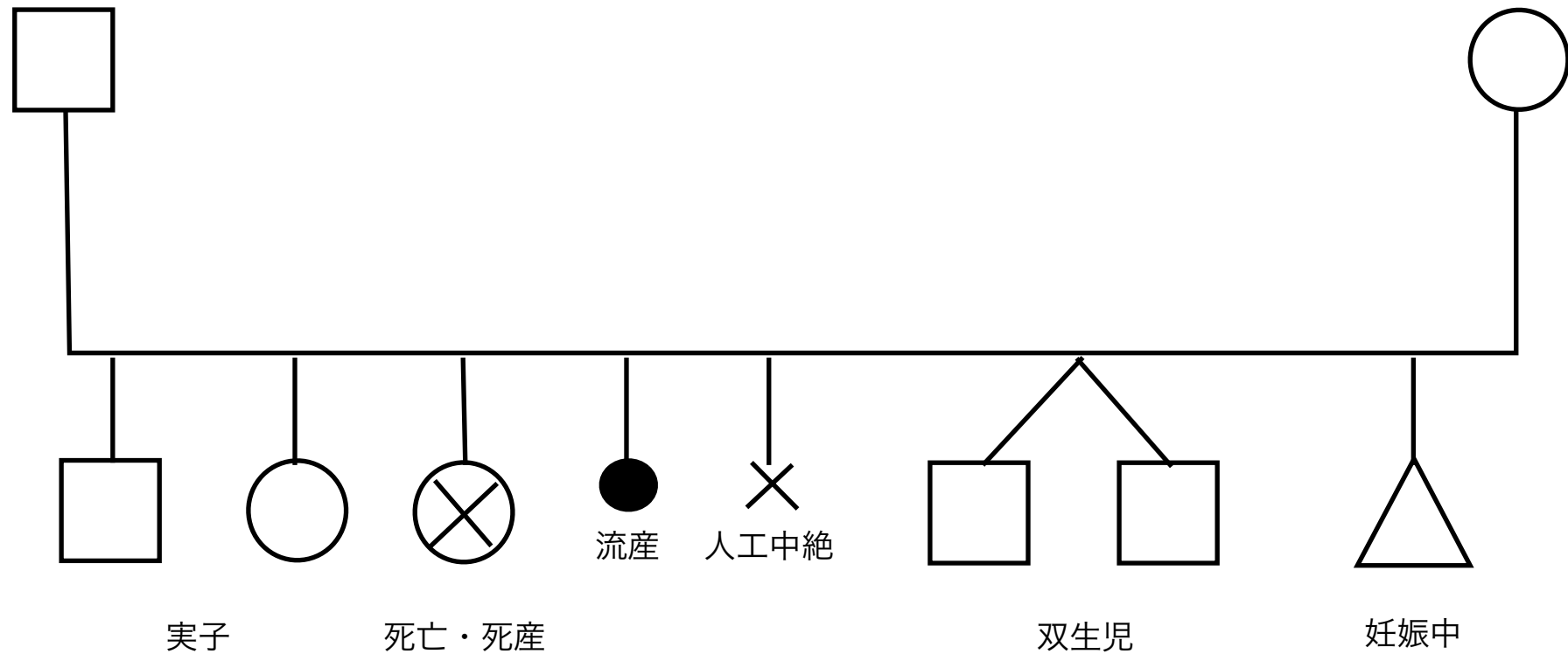


中失

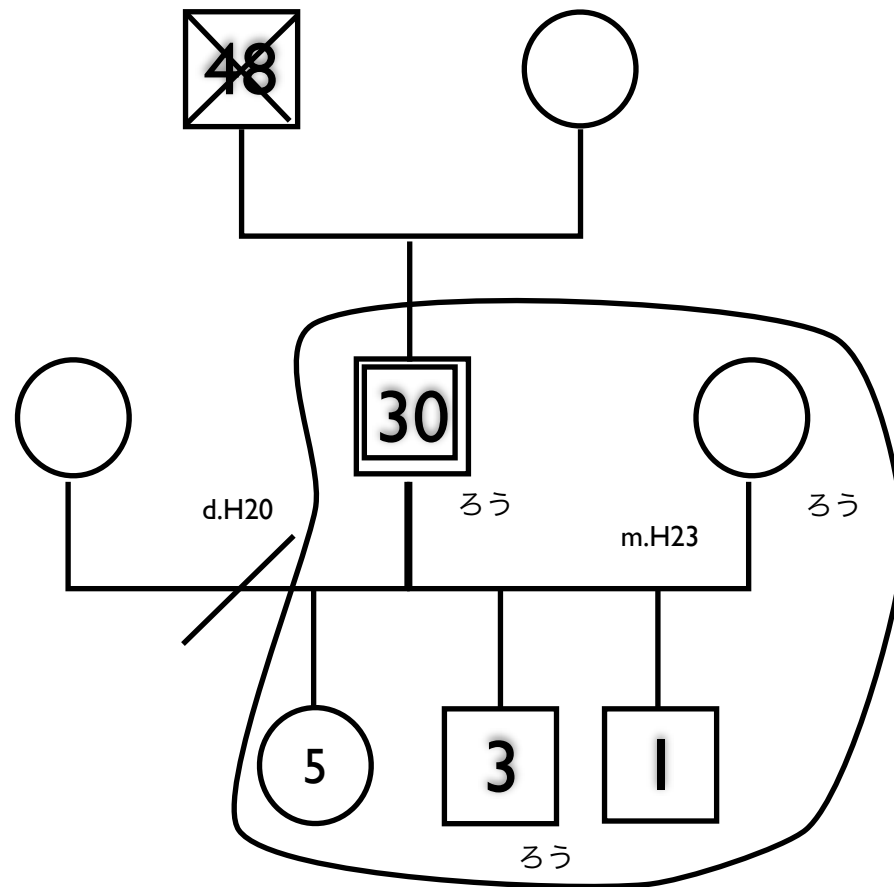
その他

- 家庭内暴力：DV
- 必要な情報は工夫して、書き込むこと

子どもなど（出生順に左から）









ジェノグラム作図例



エコマップ

- 支援を要する家族を中心として、その家族の問題や解決に関わると考えられる関係者や関係機関を記載したもの。図式化することにより、全体の関係性を簡潔に把握することができ、各機関の役割を検討するうえでも有効である。適宜作成し、比較すると、支援の過程を通じた関係機関の関わりの変化を確認することができる。

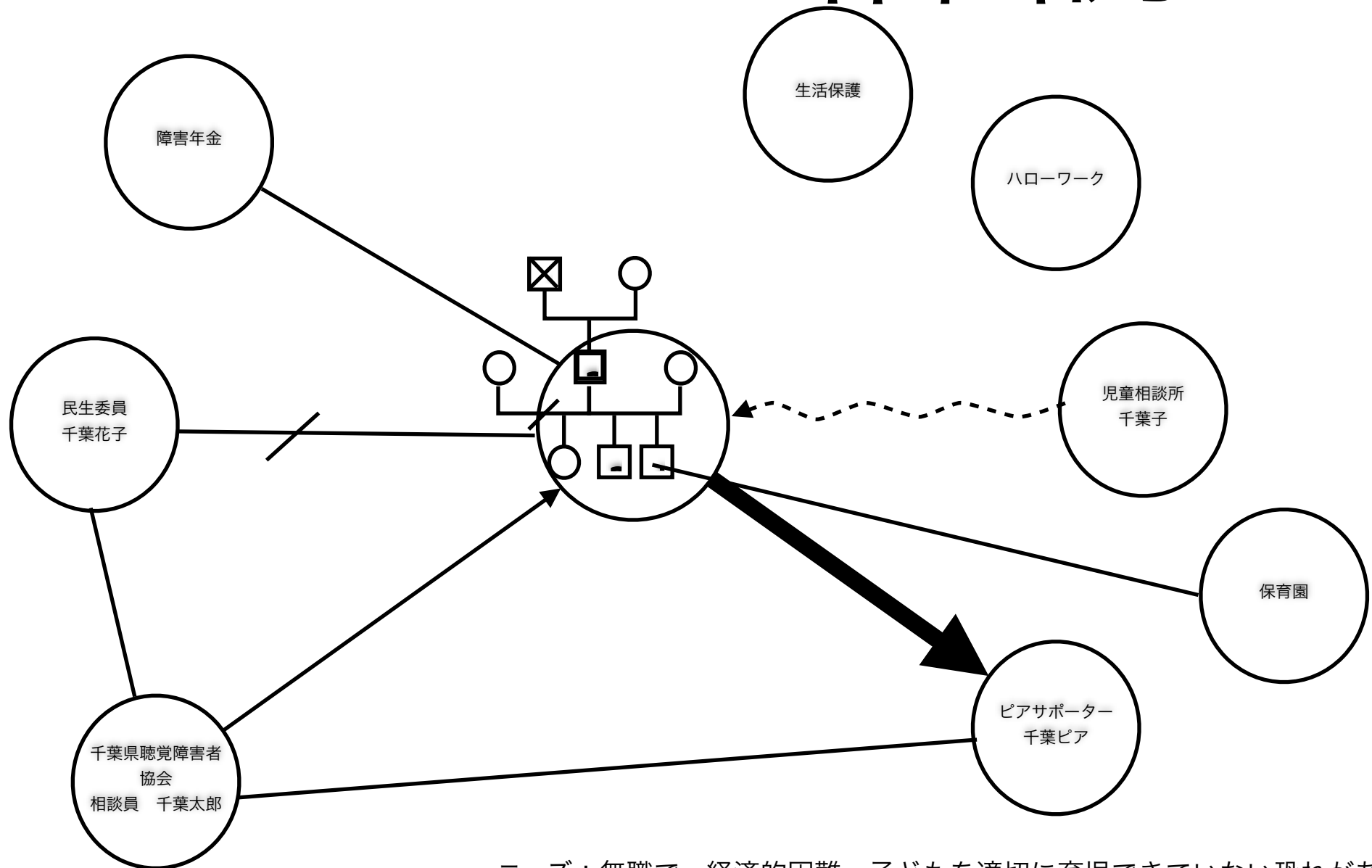
関係線

- 強い関係 
- 普通の関係 
- 希薄な関係 
- ストレス 
- 働きかけの方向 
- 関係が途切れている 

関係機関・関係者・担当者名



エコマップ作図例



ニーズ：無職で、経済的困難。子どもを適切に育児できていない恐れがある

練習問題

- ろう者（30歳）、精神障害あり。未婚、両親はともに死亡、一人暮らし、無職。病院は通院していない。市役所のケースワーカーが定期的に家庭訪問している。仕事をしたいが、病気や人間関係に問題がある。障害年金I級受給している。生活保護受給中。

大事なこと

- 個人で抱え込まず、必要に応じて関係機関や地域の社会資源につないだり、本人に情報を提供する

大事なこと、その2

- 地域の社会資源についてよく調べておくこと